

# iCR Editor XL

アイシーアール エディターエックスエル

型名： ME-202



## 操作説明書

アイシーアール エディターエックスエル  
操作説明書

●初版発行日：2017年6月

DS-2019-0800-00

# もくじ

・ もくじ	2
・ 重要なお知らせ	2
・ お問い合わせ先	3
・ 基本操作の流れ	3
・ iCR Editor XL のインストール	4
・ 表示ユニットデータの作成、編集	5
・ ●表示ユニットデータ作成、編集 ～基本～	5
・ ●表示ユニットデータ作成、編集 ～応用～	5
・ 表示ユニットデータの書出し、本機への登録	6
・ ●表示ユニットデータの書出しモード選択	6
・ ●USB メモリ登録	6
・ ●LAN 通信登録	7
・ ●ひとつの表示ユニットに LAN 通信にて登録を行う場合	7
・ ●複数の表示ユニットに LAN 通信にて登録「グループ送信」を行う場合	7
・ ●運用面における応用 1 ～ 複数表示ユニットに同じ表示ユニットデータを登録する ～	8
・ ●運用面における応用 2 ～ ひとつの表示ユニットに複数の表示ユニットデータを準備する ～	8

## 重要なお知らせ

### ●本製品の意図した用途

本製品は、i-Catch Roll シリーズ用の表示ユニットデータを作成、編集、登録する為の製品です。

意図された目的以外で本製品を使用したり、安全指示および事故防止事項にしたがわないと、以下の危険を生じることがあります。機器・ネットワーク及び RSS 機能を使用し発生したニュース配信を含む情報表示の不具合（不表示、誤表示、遅延等）による損失について弊社は一切の責任を負いません。

### ●本製品を安全に使用していただくための事項

- ・本製品を使用する前に、本書に記述されている内容を十分にご理解ください。
- ・関連する国および行政機関の法令や規則を守ってください。

### ●取扱説明書に関する事項

- ・本書は、iCR Editor XL の操作説明書です。
- ・本書は弊社が著作権を有しています。本書を含む図面および技術文書のいかなる箇所も弊社の事前の同意書なしに、複写、電子媒体など、どのような方式であっても複写することはできません。
- ・本書に記載されている写真や図は、実際の機械とは異なる場合があります。
- ・本書に記載されている数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なる場合があります。
- ・本書を紛失、または損傷した場合、再発行はできませんので、大切に保管してください。本書がない状態での本製品の使用は、事故発生の原因になります。
- ・本書、本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本製品を譲渡される場合は、次の所有者に本書を必ず渡してください。
- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Microsoft Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

# お問い合わせ先

修理・使い方などのご相談・ご依頼、及び万が一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記までお問い合わせください。

## ●設定、操作説明書に関するお問い合わせ先

☎0596-39-1119

(受付時間：平日 10:00～17:00)

Eメール： ipd@noritake-itron.jp

## ●故障、製品に関するお問い合わせ先

販売元：株式会社ノリタケカンパニーリミテド

製造元・営業代行：ノリタケ伊勢電子株式会社

### ●営業部 名古屋

〒451-8501 名古屋市西区則武新町3丁目1-36

TEL:052-561-9741 FAX:052-561-9780 (受付時間：平日 10:00～17:00)

### ●営業部 東京

〒105-8502 東京都港区虎ノ門一丁目13番8号

TEL:03-6205-4424 FAX:03-3501-7313 (受付時間：平日 10:00～17:00)

### ●i-Products Gr.

〒516-1192 三重県伊勢市上野町字和田700

TEL:0596-39-1119 FAX:0596-39-1220 (受付時間：平日 10:00～17:00)

●ホームページ：<http://www.i-products.jp/>

●Eメール：ipd@noritake-itron.jp

※Eメール、FAXは随時受け付けております。

ご連絡の前に、以下の内容をご用意ください。

- ・品名：
- ・形名：
- ・シリアルナンバー
- ・お買いあげ日(年月日)
- ・故障の状況(できるだけ具体的に)
- ・ご住所
- ・お名前
- ・電話番号
- ・Eメールアドレス

# 基本操作の流れ

## 表示ユニットを設置

表示ユニットの設置、電源、LANケーブルの接続を行います。

表示ユニット設置については、i-Catch Roll DS取扱説明書、9ページの「表示ユニットの設置、動作の確認」を参照ください。

## アプリケーションソフト「iCR Editor XL」にて表示ユニットデータの編集

表示ユニットデータの作成、編集を行います。

表示ユニットデータの作成、編集については、5ページの「表示ユニットデータの作成、編集」を参照ください。

## 表示ユニットへの表示ユニットデータの書出し(登録)

### USBメモリー登録

USBメモリーに表示ユニットデータを書出します。

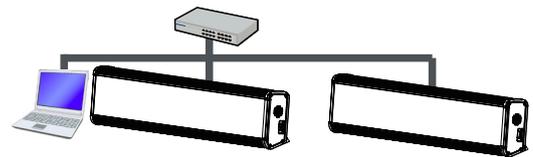
書出した後のUSBメモリーにて表示ユニットデータの書き換えを行います。



6ページの「●USBメモリー登録」を参照ください。

### LAN通信登録

作成した表示ユニットデータを専用データに変換し、LANに接続された表示ユニットにLAN経由で登録を行います。



7ページの「●LAN通信登録」を参照ください。

LAN設定についてはi-Catch Roll DS取扱説明書、18ページの「LANの設定」を参照ください。

## 表示ユニット

表示ユニットデータの更新

# iCR Editor XL のインストール

## ●アプリケーションソフト「iCR Editor XL」概要

i-Catch Roll DS (IPD-011ULBS) 表示に必要な、表示ユニットデータの作成、設定、編集を使い慣れた Excel にて行います。このアプリケーションソフトでは以下のことができます。

- ・ワークシート毎に表示ユニットデータを作成・編集し、各ワークシート内の表示ユニットデータ単位で登録を行います。
- ・USB メモリへの書出し、登録、または LAN 経由にて直接表示ユニット、グループ送信、登録を行います。

**ご注意** iCR Editor XL を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集することは、著作権法上、個人的にその複製物や編集物を使用する場合に限られます。このような利用方法はお控えください。

## ●アプリケーションソフト「iCR Editor XL」動作条件

OS	CPU	主記憶メモリ	Microsoft Excel	ハードディスク空き容量	ディスプレイ
Windows 7～10 日本語版	OS のシステム条件に準じる。		Excel 2010 以上	100MB 以上	1024x768 以上

## ●アプリケーションソフト「iCR Editor XL」のインストール

ご使用のパソコンの使用環境などにより、説明内容、画面と実際の内容、画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。

- ① Excel ファイル「iCR Editor XL」をお手元のパソコンのデスクトップまたは任意の場所にコピーします。
- ② コピーした「iCR Editor XL」をダブルクリックし、開きます。**ご注意** 本エクセルファイルはマクロの有効化が必要です。

## ●アプリケーションソフト画面説明

### ●初期設定

LAN 設定、ユニット名等設定を行います。

### ●コンテンツ編集

LAN 設定、ユニット名等設定を行います。



### ●表示ユニットデータ登録

LAN 通信確認、LAN による表示ユニットデータ送信、USB メモリへの表示ユニットデータ書出しを行います。

## ●初期設定

表示ユニットの設定内容等の設定を行います。

初期設定	
ローカルIPアドレス設定	192.168.51.60
TCPポート設定	10001
表示の向き	横
ユニット名	カウンター1
グループキーワード	1F
自動送信	

### ローカル IP アドレス設定：

表示ユニット本体に割り当てられた IP アドレスを入力します。USB メモリで登録、運用する場合は必要ありません。

### TCP ポート設定：

表示ユニット本体に設定された TCP ポートを入力します。USB メモリで登録、運用する場合は必要ありません。

**ご注意** 表示ユニットの IP アドレス、TCP ポート設定は、i-Catch Roll DS 取扱説明書、18 ページの「LAN の設定」を参照ください。

### 表示の向き：

横、または縦を選択します。

### ユニット名：

任意の表示ユニット名をつけます。

### グループキーワード：

LAN 送信にてグループ送信を行う場合に共通のキーワードとして登録を行います。グループ送信については、7 ページの「●複数の表示ユニットに LAN 通信にて登録「グループ送信」を行う場合」を参照ください。

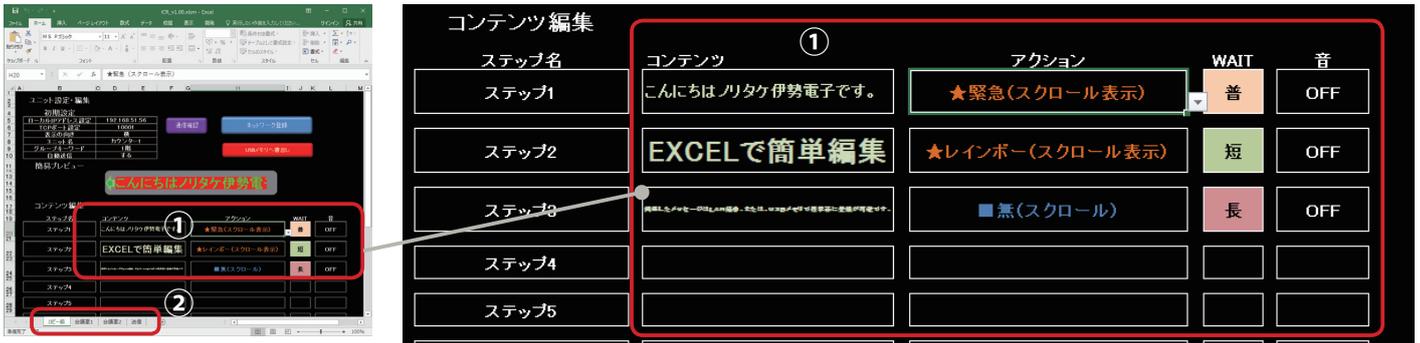
### 自動送信：

この機能は使用しません。空欄とします。

# 表示ユニットデータの作成、編集

## ●表示ユニットデータ作成、編集 ～基本～

Excel ワークシート上にて表示ユニットデータの作成、編集を行います。



### ①表示ユニットデータ編集

#### 1. 文字入力

「コンテンツ」セルに文字を入力します。フォントタイプ、文字の大きさ等の設定も行います。通常 24～26 ポイントが表示ユニットに表示される最適なサイズで、その場合、固定表示においては 10～12 文字程度表示されます。スクロール表示する場合はそれに限りません。

- ご注意**
- ・ステップ 2 以降でスクロール表示アクションを指定した場合、前ステップの表示を右から左へ押し出しスクロール表示となります。
  - ・右から左へ流れ消える、スクロール表示を行う場合は、入力した文字の後に空白を必要数入力する必要があります。

#### 2. アクション選択

背景、文字表示アクションの選択を行います。セルを選択し、右側のプルダウンメニューで選択します。またセルを選択と同時に、上部簡易プレビューに状態が表示されます。

#### 3. ステップ間の停止時間、音出力設定

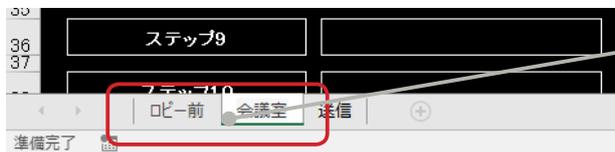
「WAIT」: ステップ間の停止時間を設定します。特に固定表示選択の場合は、設定必要です。

「音」: 表示開始と共にチャイム音を鳴らすことができます。

必要に応じて、ステップ 2 以降の編集を行います。その場合、ステップ 1 から順に表示が開始され、繰返し表示されます。

## ●表示ユニットデータ作成、編集 ～応用～

LAN 通信にて、複数台の表示ユニットを制御する場合、また、ひとつの表示ユニットに表示するために複数の表示ユニットデータを予め作成しておく場合など、EXCEL のワークシートを複数作成して編集を行います。



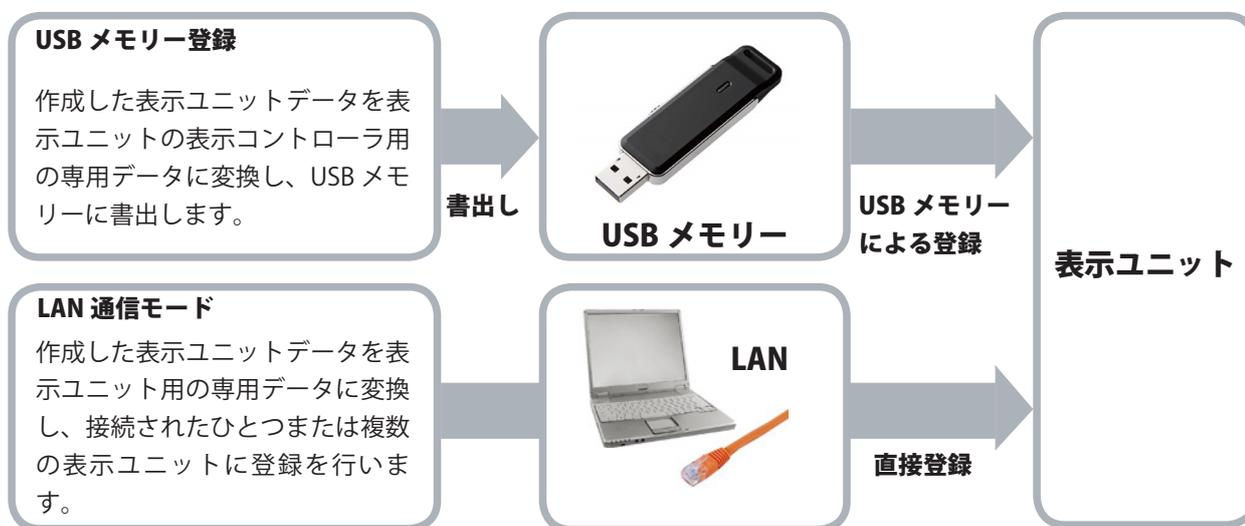
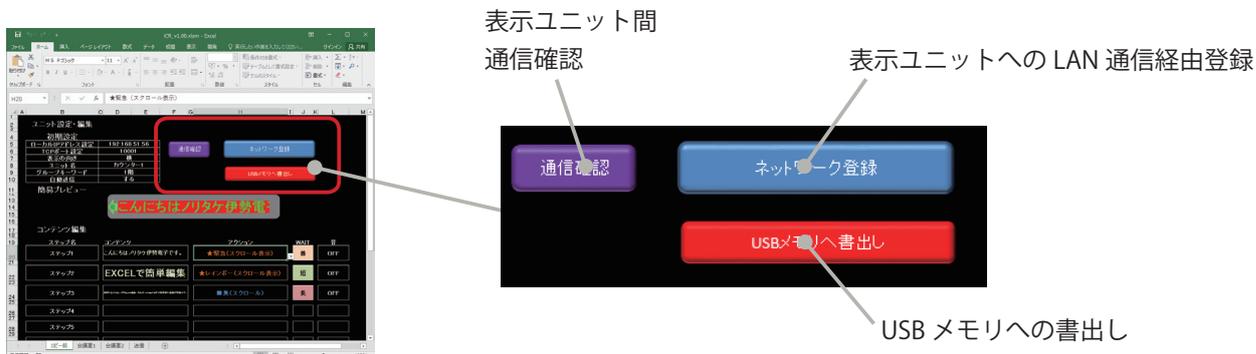
EXCEL の機能を利用し、ワークシートを複製します。各ワークシートに運用上便利な名前を付けて管理もできます。例：ロビー前、会議室、等朝表示用、昼表示用、等

- ご注意** LAN 通信にて運用する場合、「初期設定」にて、LAN の設定、ユニット名、グループキーワード、の設定を行う必要があります。設定内容については運用方法によって異なります。グループキーワード設定による、グループ送信については、7 ページの「●複数の表示ユニットに LAN 通信にて登録「グループ送信」を行う場合」を参照ください。

# 表示ユニットデータの書出し、本機への登録

## ●表示ユニットデータの書出しモード選択

表示ユニットデータ作成後、表示ユニットヘデータの登録「書出し」を行います。  
登録の方法として以下の方法があります。



**ご注意** LAN 接続の場合、固定 IP アドレスの設定が必要です。LAN ケーブルはストレートケーブルが必要です。社内 LAN に接続する際は、必ずネットワーク管理者に確認ください。LAN 設定については i-Catch Roll DS 取扱説明書、18 ページの「LAN の設定」を参照ください。

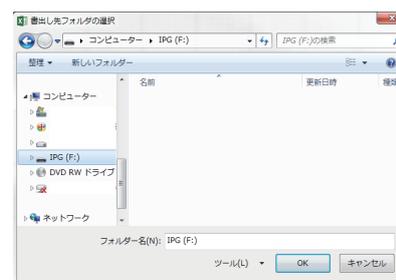
## ● USB メモリ登録

表示ユニットデータ編集後、USB メモリで表示ユニットデータの書き換えを行う場合に使用します。

1. USB メモリーをパソコンの USB 端子へ挿入します。
2. 「USB メモリーへの書出し」をクリックします。
3. USB メモリーが自動的に選択されますので、OK をクリックします。
4. USB メモリーへの書出しが開始されます。「成功」が表示されたら、OK をクリックし USB メモリーを取り外します。
5. 表示ユニット電源投入後、書出したデータの入った USB メモリーを表示ユニット USB メモリー端子に挿入しますと、自動的に表示ユニットデータの登録が開始されます。

**ご注意** 表示ユニットへ登録中は絶対に USB メモリを抜かないでください。登録する表示ユニットデータ次第では、登録時間が長くなる場合もあります。

6. 登録が完了すると、自動的に表示スタートとなります。表示スタート後は USB メモリーを抜いてもかまいません。



# 表示ユニットデータの書出し、本機への登録

## ● LAN 通信登録

表示ユニットデータ編集後、LAN 通信で表示ユニットデータの登録を行う場合に使用します。

### ●ひとつの表示ユニットに LAN 通信にて登録を行う場合

1. 初期設定を行います。

初期設定	
ローカルIPアドレス設定	192.168.51.60
TCPポート設定	10001
表示の向き	横
ユニット名	
グループキーワード	
自動送信	

「ローカルIPアドレス設定」、「TCPポート設定」:

表示ユニットに予め割当てた IP アドレス、TCP ポートを設定します。

「表示の向き」

縦置き等、縦表示の場合は「縦」にします。

**ご注意** 「ユニット名」、「グループキーワード」、「自動送信」は使用しません。

2. 通信確認を行います。

表示ユニットを、編集パソコンと同一ネットワークに接続後、「通信確認」をクリックすることで、表示ユニットとの通信の確認を行います。

3. LAN 通信による登録を行います。

「ネットワーク登録」をクリックしますと、登録が開始されます。

4. 登録が完了すると、自動的に表示スタートとなります。



**ご注意** 表示ユニットへ登録中は絶対に LAN ケーブルを抜かないでください。登録する表示ユニットデータ次第では、登録時間が長くなる場合もあります。

### ●複数の表示ユニットに LAN 通信にて登録「グループ送信」を行う場合

複数台の表示ユニット毎に、ワークシート複製にて複数の表示ユニットデータ作成した場合を例に説明します。

1. 初期設定を行います。

「ローカルIPアドレス設定」、「TCPポート設定」、「表示の向き」設定に加え、「グループキーワード」、「ユニット名」の設定を行います。

設定例:

「1F」グループ	
初期設定	
ローカルIPアドレス設定	192.168.51.60
TCPポート設定	10001
表示の向き	横
ユニット名	ロビー前
グループキーワード	1F
自動送信	

表示ユニット 1 台目「ロビー前」

初期設定	
ローカルIPアドレス設定	192.168.51.61
TCPポート設定	10001
表示の向き	横
ユニット名	事務所
グループキーワード	1F
自動送信	

表示ユニット 2 台目「事務所」

「ユニット名」

運用上、便利なユニット名を任意で入力します。

「2F」グループ	
初期設定	
ローカルIPアドレス設定	192.168.51.62
TCPポート設定	10001
表示の向き	横
ユニット名	会議室1
グループキーワード	2F
自動送信	

表示ユニット 3 台目「会議室 1」

初期設定	
ローカルIPアドレス設定	192.168.51.63
TCPポート設定	10001
表示の向き	横
ユニット名	会議室2
グループキーワード	2F
自動送信	

表示ユニット 4 台目「会議室 2」

「グループキーワード」

グループ送信時のキーワードとして入力します。

# 表示ユニットデータの書出し、本機への登録

## ●複数の表示ユニットに LAN 通信にて登録「グループ送信」を行う場合 ～続き～

### 2. 通信確認を行います。

表示ユニットを、編集パソコンと同一ネットワークに接続後、「通信確認」をクリックすることで、表示ユニットとの通信の確認を行います。

### 3. LAN 通信による「グループ送信」登録を行います。

「送信」ワークシートに移動します。

前ページ設定例に基づき、設定した場合、次のような画面になります。

The image shows a screenshot of the '送信' (Transmission) worksheet in a spreadsheet application. The 'コンテンツ送信' (Content Transmission) section is highlighted with a red box and contains three columns: 'ユニット別送信' (Unit-specific transmission), 'グループ送信' (Group transmission), and '自動送信' (Automatic transmission). The 'ユニット別送信' column has buttons for 'ロビー前' (Lobby), '事務所' (Office), '会議室1' (Meeting room 1), and '会議室2' (Meeting room 2). The 'グループ送信' column has buttons for '1F' and '2F'. The '自動送信' column has buttons for '監視スタート' (Start monitoring) and 'ストップ' (Stop). Below this, two '初期設定' (Initial Settings) tables are shown. The left table has 'ユニット名' (Unit name) set to 'ロビー前' and 'グループキーワード' (Group keyword) set to '1F'. The right table has 'ユニット名' set to '事務所' and 'グループキーワード' set to '1F'. Red and blue lines connect the buttons in the 'コンテンツ送信' section to the corresponding settings in the tables.

ローカルIPアドレス設定	192.168.51.60
TCPポート設定	10001
表示の向き	横
ユニット名	ロビー前
グループキーワード	1F
自動送信	

ローカルIPアドレス設定	192.168.51.61
TCPポート設定	10001
表示の向き	横
ユニット名	事務所
グループキーワード	1F
自動送信	

「初期設定」内容に基づき、運用画面内容が自動で設定されます。

「自動送信」機能は使用しません。

“グループ送信”の“1F”をクリックしますと、グループ送信登録が、“ロビー前”と“事務所”の表示ユニットに順番に開始されます。

“ユニット別送信”の“ロビー前”をクリックしますと、編集された表示ユニットデータの登録を単独で行います。

### 4. 登録が完了すると、自動的に表示スタートとなります。

**注意** 表示ユニットへ登録中は絶対に LAN ケーブルを抜かないでください。登録する表示ユニットデータ次第では、登録時間が長くなる場合もあります。

## ●運用面における応用 1 ～ 複数表示ユニットに同じ表示ユニットデータを登録する ～

複数の表示ユニットに、同じ表示ユニットデータを登録したい場合は下記のような運用方法があります。

1. ひとつのワークシートで表示ユニットデータを、編集用マスターとして作成する。
2. 編集用マスターを必要数、ワークシートの複製を行いスレーブとし、各“コンテンツ”セルをマスターとイコールにて連携する。(マスターのコンテンツセルを編集するだけでスレーブも自動で更新されるようにする。)
3. マスター及び、複製したスレーブに使用な初期設定を行い、グループキーワードに共通キーワードを入力する。  
以降は、“グループ送信”をクリックすると、同内容の表ユニットデータがすべての表示ユニットに登録されます。

## ●運用面における応用 2 ～ ひとつの表示ユニットに複数の表示ユニットデータを準備する ～

例えば、“月曜日用”、“火曜日用”など、ひとつの表示器に対し、予め複数の表示ユニットデータを準備し任意で登録する場合は下記のような運用方法があります。

1. 複数のワークシートを準備し、それぞれに同一の IP アドレス、TCP ポートを設定します。
2. ワークシート名、及びユニット名に“月曜日用”、“火曜日用”など任意で名前を付けます。
3. 各ワークシートから、もしくは「送信」ワークシートのユニット別送信を利用して運用します。